

畜産ニュース

○冬期養鶏特別講習会開催

日本鶏農会中禽社、県内各養鶏団体主催、県後援で、2月4日～5日、2日間、岡山市公会堂において開催される、多数の聴講を希望します。

講師と講習科目

養鶏の動向に付

日本鶏農会中禽社会長 山口 保隆氏

種鶏の改良と飼育

農林省兵庫種畜牧場長 田内 正晴氏

生産物の有利な捌き方

全国卵業協会会長

元兵庫種畜牧場長 村上 邦夫氏

育雛とバタリー養鶏

実際家 齊藤 虎松氏

駄鶏淘汰と養鶏管理

元愛知県養任実際家 沼田 績氏

鶏の病気と手当

日本生物科学研究所

学術部長 高松 泰人氏

上手な飼料の使い方

農学博士 西川哲三郎氏

300羽が1月13日白山丸にて琉球農協連宛初移出した。

(価格は神戸三宮渡しの270円)

○西大寺養鶏連顧問松本要氏外10名は県産鶏卵取引改善の目的で先週大阪経済事務所において阪神荷受機関と懇談した。

○池田牧場では1月19日に神戸、伊藤食品K・K宛に豚の枝肉出荷を行い頭数は20頭であったが、枝肉96文で取引された。

○玉島市柏島種鶏家高田辰夫外20名は玉島市西部養鶏組合を組織し、組合員の生産鶏卵を阪神方面に共同出荷することになり、その第一回出荷を1月16日に大阪中央市場宛に出荷したが仲々の好評で愛知並以上の価格で取引がされた。

○酪農講習会開催

広島県佐伯郡砂谷酪農組合長、久保政夫氏を招いて、県では次の日程で酪農による村造りの体験講演会を開く。

1月4日 林野高等学校

1月5日 落合町

1月6日 高梁市

大阪経済事務所畜産ニュース

○沖縄へ中雛を初移出

新見市石本養鶏研究所生産の白レグ、中雛(45日)

第2期養鶏技術伝習生募集要領

一. 募集の目的

昭和31年度新設の当時は、本年度中に拡充整備も、ほぼ完成を見、移転も31年11月をもって完了し、明年度よりいよいよ本格的に業務を行う事になり、これに伴い第2期養鶏技術伝習生（昭和32年度）を下記の通り募集し、有為な農村子弟に養鶏に関する各種の知識及び技術を伝習させて将来農村に於ける養鶏中堅人材を養成する。

- 一. 募集する人員 10名以内
- 一. 伝習の期間 1ヶ年（昭和32年4月～33年3月迄）

一. 応募の資格

(イ) 新制中学校卒業又はこれと同等以上の学力を有する者

- (ロ) 年齢は満15才以上20才未満の者
- (ハ) 本県内に居住し、身体強健思想堅実な者
- (ニ) 伝習修了後は自家経営に従事する者

一. 応募の手続

応募者は次の書類を願書提出締切日迄に一括提出すること

- (イ) 願書（第1号様式による） 1通
- (ロ) 履歴書 1通
- (ハ) 戸籍抄本 1通
- (ニ) 医師の健康診断書 1通

一. 募集及び選衡

- (イ) 願書提出締切日 昭和32年2月28日
- (ロ) 願書提出場所 岡山市田中
岡山県養鶏試験場
- (ハ) 選衡日及び場所 昭和32年3月10日
- (ニ) 合格の発表 3月15日頃直接本人に通知する
- (ホ) 入場其の他 入場期限 4月1日
なお入場者は全員場内合宿寮に収容し、月手当を予算の範囲内（1ヶ月1,000円の見込）で支給する。

(第1号様式)

(用紙 洋半紙半枚)

採 用 願

私儀

今般貴場第二期（昭和32年度）養鶏技術伝習生として入場致したいから関係書類を相添えて御願います。

昭和 年 月 日

住所

氏名

印

岡山県養鶏試験場長 殿